

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報

# おおづ

# 12

December 2022

Public relations  
OZU TOWN



①11月4日に行われた「ピカピカ運動」。ドライバーなどへの早めの点灯と安全運転の啓発を行いました②大津地区交通安全協会大津支部評議員で行うカーブミラーの調査。地区からの要望を基に、カーブミラーが必要かどうかの判断を行います。

# Clozu-up Ozu-jin

クローズアップ 大津人

広報 おおづ 2022 12

発行・編集 大津市 総合政策課  
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地  
TEL.096(293) 3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

印刷 大津市 印刷株式会社  
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地  
TEL.096(293) 3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

UD  
FONT  
見やすくて読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



## 大切な人を傷つけないために 自分の命は自分で守る

ふるさわ えいち  
古澤 榮一さん(大津)

大津地区交通安全協会大津支部長を務める古澤榮一さん。10年以上交通指導を続ける思いにクローズアップする。

55歳まで自動車の部品製造関係の仕事に勤めていた古澤さん。その後タクシー会社で事務の仕事に就く。60歳で引退し、ある人の影響で交通指導員となった。自動車に関わる仕事を長くしていたこともあり、交通安全の思いは特に強かった。

大津地区交通安全協会大津支部は、春・秋の交通安全運動や交通安全子供自転車大会の運営、カーブミラーの点検、青色防犯パトロール車で見回りなどを行う。朝の見回りは美咲野の交差点に立つ古澤さん。「児童があいさつを返してくれたり、学校生活のことを話してくれたりするのはうれしいです。今後も大津町の大切な宝を守っていきたいです」と子どもたちの笑顔を思い出したのか目を細める。

昨年、秋の交通安全運動中に交通指導員の一人が交通事故に遭った。しかもその車は飲酒運転だった。事故に遭った人は、古澤さんが指導員となるきっかけをくれた人だった。「幸いにも命は助かりましたがとても悔やまれる事故です。どんなに気をつけていても事故に遭うことがあります」と、この事故に直面した古澤さんはこう考える。「運転手は心に余裕を持ち、危険を予測し何度も確認する。歩行者は横断歩道を渡り、反射材をつける。一時停止は必ず止まり、道路では絶対にぶざけな」と当たり前ことだが、ずっと続けていくことで命を守ることにつながる。「事故に遭う人が減るように、運転手も歩行者もどちらも意識しないとダメです」と古澤さんは今まで以上に交通安全を強く願うようになった。

### こころの声

▼今回、特集を書いてみて気付いたのが「大津町」と書かれて販売されている食材が意外に多いということ。「これも大津町で作られているんだ！県内で生産されているものにもこれもあるんだ」と身近に地元食材があることに驚きでした。大津や県内で作られていると思うだけでなぜか食材がよりおいしく感じます。地域の農家さんの思いが味に伝わっているのでしょうか▼大津町で食材を調達して初めて、町野外活動等研修センターでBBQをし、たき火を囲みながらの食事は最高でした。食材や施設、人など全ての恵みを一度に味わうことができました。ぜひ、友だちや家族と大津の恵みを味わってみてください(SU)



たき火で使った「スウェーデンターチ」と空に輝く月

# 大津の恵みを いただきます

特集